

練習課題 1

内容

現存する日本国内の港湾から適当なものを1つ選び、以下の項目について調べて文書としてまとめなさい。

1. 港湾の名称（できるだけ正式なもの）と所在地（都道府県名と市区町村名まで。複数の自治体にまたがっている場合は、すべて列挙する）。
2. 港湾の種別（現行の法令上の区分）。港湾によって適用される法律が「港湾法」「漁港漁場整備法（旧・漁港法）」に分かれている場合があるので注意深く検討すること（資料によっては現行法でない場合（古い法令に基づくもの）があるので注意すること）。
3. 設置年もしくは開港年（法令上の形式的な指定年なのか、実質的な運用開始年なのか、どちらなのか明示すること）。
4. 出入船舶数や取引量・旅客数・水揚げ量など、最近の統計（出典・統計名は明記すること、可能であれば複数年にわたるもの）について図表で示す（出典を明記することを条件にコピーで構わない。Excelなどでの加工は不要）。数量の単位や調査年など、資料に不可欠な情報も示すこと。
5. その港湾を取り上げた理由と、調べる前の印象と調べた後の印象の比較による考察。（300字以上）。
6. 統計が示す港湾の特性と現地での印象との比較考察、景観や地域との親和性、歴史的背景といった視点での考察など、5とは異なる視点での考察（300字以上）。
7. 5, 6の考察に必要なその他の資料（周辺の地図、現地の写真や参考文献など）は適宜付け加えてよい。

提出物

上記の内容をA4判用紙に文書としてまとめたもの。表紙は必要ないが、最初のページには科目名および課題番号・氏名・学籍番号・提出日を明記すること。ワープロ仕上げである必要はなく、手書きも可とします。

評価のポイント

- レポートとしての形式（必要な事項や、指示された内容がすべて含まれているか）
- 資料等の的確さ（引用元、出典の明示ができているか。7を追加した場合は、適切なものかどうか。）
- 考察部分（5, 6）の分量（文字数が十分か）
- 考察内容の独自性（資料などの丸写しになっておらず、見解・意見・感想が自身の言葉で表現できているか）

提出期限

2018年10月26日（金） 18:00

提出先

授業時に提出するか，3号館（総合教育研究棟）1階の「施設管理担当」入口（写真参照）にある坂口宛 Box へ投函すること。Word で仕上げた場合はファイルを添付してメールで送っても構いません（宛先は lect011@yokohama-cu.ac.jp，件名（Subject）は「都市・港湾経済学 練習課題1の提出」，メールの本文に氏名・学籍番号を明記すること）。

施設管理担当入口
（実習室 A・B の向かい側）

